

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和2年3月25日

①学校名:	四国大学	②所在地:	徳島県徳島市応神町古川字戎子野123-1			
③課程名:	四国大学実践的小学校英語指導者育成プログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	H29.4.1	
⑥責任者:	マーク・フェネリー	⑦定員:	20名	⑧期間:	2年	
⑨申請する課程の目的・概要:	小学校高学年から従来の「外国語活動における英語」から「教科としての英語」となることに向けて、それを教える小学校教員の資質(知識・技能)が重要となる。本プログラムでは、加速するグローバル化の中で生きた英語力を持つ子ども達を育成するために、小学校教員自身が修得すべき英語の技能とその背景としての文化や社会についての知識、及び英語指導法を学ぶことを目的としたプログラムである。					
⑩テーマへの該当の有無	無し	⑪履修資格:	小学校教諭免許を有する者			
⑫対象とする職業の種類:	小学校教員					
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 英語を指導するために必要な知識・技能		(得られる能力) 英語指導に有益な英語運用能力			
⑭教育課程:	「小学校英語教育」「国際文化入門」で英語を指導するために必要な教育方法や文化的知識を学び、「Speaking I」や「Listening I」「Reading I」「英語音声学」において英語指導に役立つ英語運用能力を修得する。また選択科目としての「英語教育 I」「英米文学入門」「生徒指導論」において隣接する中学校での英語教育の教授法等を修得でき、小学校での3年以上の在職年数を有する者は、さらに中学校二種免許の取得に繋げることができる。					
⑮修了要件(修了授業時数等):	必修科目10単位を含む12単位以上を修得すること					
⑯修了時に付与される学位・資格等:	四国大学実践的小学校英語指導者育成プログラム履修証明書					
⑰総授業時数:	18 単位	⑱要件該当授業時数:	18単位	該当要件 企業等 双方向 実務家	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	100%
⑳成績評価の方法:	授業時の議論などへの参加状況、試験及びレポート等で総合的に判断する。					
㉑自己点検・評価の方法:	本プログラムの目標を達成するための評価基準を設定し、教育委員会等に依頼した第三者の意見を取り入れ、受講者による「授業評価アンケート」を行うなどして、自己点検や評価を行う。					
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対して修了後の感想、及び本プログラムが自身の英語力、英語指導力の向上のためにどのように有用であったかについてアンケートを行う。					
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 本学が委嘱した企業等(本プログラムにおいては徳島県立総合教育センター)の委員と本学関係者により構成される「四国大学職業実践力育成プログラム推進会議」を開催し意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 「四国大学職業実践力育成プログラム推進会議」に出された意見、並びに受講者アンケートを分析することにより、自己点検を行う。					
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間開講並びに集中講義で開講					
㉕ホームページ:	(URL) https://www.shikoku-u.ac.jp/education/researchstudent/risyuu/					

事務担当者名:	齋藤 弘子	所属部署:	教育・学生支援部 教育支援課
連絡先:	(電話番号) 088-665-9922 (E-mail) kyoumu@shikoku-u.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
*様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。